

# メッシュベルト駆動方法

## ■ プーリー駆動

プーリー駆動は最も多く採用されている方法で、普通のベルト駆動と同じ運行方法ですが、正常なプーリー駆動を保持する為に次の事項に御留意願います。

プーリー駆動方式例

- ① 駆動側、従動側プーリー共、ベルトの接触面は平面に仕上げ、中高や中低のプーリーは絶対使用しない事。又プーリー巾はベルトの巾より50mm以上広くする事。
- ② 駆動側プーリーの直径は可能な限り大きくする事。
- ③ 駆動側プーリーにはなるべく摩擦力を高めるため（スリップ防止）ゴムライニングやローレット加工等を施す事が望ましい。
- ④ ベルトを取付けた場合ベルトの運行面が水平に、又ベルトと、駆動側、従動側 両プーリー芯芯が直角になるよう計測する事。
- ⑤ ベルトの巾が広い場合、ベルトの長さが非常に長い場合、或いは運行面に大きな荷重が掛る場合等は、駆動側プーリーとベルトの接触面を増やす為に、テークアップを取付ける事。

